

蟹江町歴史民俗資料館 おうちミュージアム

## 第18回 ひなまつりについて(答えと解説)



今回のおうちミュージアムは、「ひなまつり」についてとりあげます。

## ① 3月3日のひなまつりは、何の節供せっくという？

ア 豆(まめ)    イ 桃(もも)    ウ 貝(かい)

答えは、**イの桃(もも)**です。春になり、桃ももの花がさく季節きせつだから、とか、桃ももには薬くすりになる成分があり健康けんこうをねがって桃もものお酒さけをのんだから、などということで、桃ももの節供せっくというようになったとされています。ちなみに節供せっくとは、季節きせつの節目ふしめにごちそうを用意し、みんなで食べることをいいます。

## ② ひなまつりに食べるものといえば？

ア 豆(まめ)    イ 桃(もも)    ウ 貝(かい)

答えは、**ウの貝(かい)**です。特にハマグリは、2枚の貝がらが同じもの同士じゃないとぴったりと合わないため、同じ相手と一生仲良くすごせるように、という思いをこめて食べるのだといわれていますが、ハマグリ以外でも、アサリやツボ(タニシ)を食べるといふ地域もあります。

## ③ ひな段だんの、向かって右にあるのは何の花？

ア 梅(うめ)    イ 桃(もも)    ウ 桜(さくら)

答えは**ウの桜(さくら)**です。ひな人形のかざりは、昔天皇が住んでいた京都御所きょうとごしよを再現しているといわれ、御所ごしよの紫宸殿ししんでんという建物たてものの横に桜があるため、桜の木をかざるので、そして向かって左には橘たちばなをかざりますが、これも同じ理由りゆうです。建物たてものから見ると左に桜、右に橘たちばながあるので、「左近さこんの桜」「右近うこんの橘たちばな」とよぶそうです。

④ 次の3つの段かざりを古い順に並べよう。

イ

ウ

ア



答えはイウアです。ひな人形は、古くは紙などで作った人形だったそうですが、やがて衣装いしやうをつけた人形になり、女の子が生まれると成長をねがって親せきからプレゼントされるようになったといひます。西日本では150年くらい前から、京都きやうとの御所ごしよをまねた御殿ごてんに人形をかざるようになったそうです。

イのかざりは、今から90年前ぐらいのものですが、その流れを受け、御殿ごてんがついたかざりになっています。全体的に小さめですが、落ち着きがあります。ぼんぼりではなく、左右にちょうちんとくちやうをつけるのが特徴です。

ウのかざりは、今から70年ぐらい前のものです。かざりはだんだん豪華ごうかになっていき、大きな御殿ごてんがついています。御殿ごてんは、神社などを建てる宮大工みやだいくが仕事の合間に作ったそうです。このころから7段かざりが多くなります。

アのかざりは、今から50年ぐらい前のものです。部品の多い御殿ごてんはなくなり、金色びやうがの屏風を人形の後ろにかざるようになりました。御殿がない分、人形が大きくなり、あざやかな衣装いしやうを身に着けるようになりました。